

EC



20世紀の映像百科事典

エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ

を見る

連続上映会

5

仮面

上映プログラム

ECフィルムより

ティカール族(赤道アフリカ カメルーン草原)「夜の仮面の登場」/1977年

中央ヨーロッパ チロル「クラウバウフ行進の巨大な仮面(行動研究)」/1966年

バウレ族(西アフリカ 象牙海岸)「アスウアクロの仮面舞踏“グバグバ”2 赤、黒、白の仮面、蟻の仮面」/1968年

クラホ族(ブラジルトカンティンス地方)「“コクリト”仮面編み」/1959年

クラホ族(ブラジルトカンティンス地方)「“コクリト”仮面舞踏」/1959年

*民族名、撮影地名には、現在では用いられない名荷がございますが、製作当時の表記を尊重しました。

特別上映

「トベン・チルボン 西ジャワの仮面舞踊」/国立民族学博物館製作

「鹿児島硫黄島の八朔太鼓踊りとメンドン」/国立民族学博物館製作

「バロンに続け! バリ島の子どもたちによる門付け」

〈ゲスト〉

福岡正太

吉田ゆか子

(国立民族学博物館文化資源研究センター准教授)

(国立民族学博物館 機関研究員)

2013.10.31(木)

18:30開場/19:00開演

会場:Space&Cafeポレポレ坐

予約:03-3227-1405 event@polepoletimes.jp (ポレポレタイムズ社)

料金:予約1,500円/当日2,000円(ワンドリンク付)

かつて壮大な映像百科をつくらうと夢見た人々がいた。



本上映会シリーズは、20世紀を代表するこの壮大な映像アーカイブを
 今に生きる私たちの目線で読み直し、虫干しして、
 多彩な分野の人々との対話を通して新しい息吹をふき込む試みである。
 これらの映像の中に、私達の未来に必要な宝物を見つけられるかもしれない。



エンスaikロペディア (EC) シネマトグラフィカとは?

1951年、ドイツ・国立科学映画研究所で、科学映像を
 めぐる一大計画が始まった。「エンスaikロペディア・シネマ
 トグラフィカ」(EC)と題するこのプロジェクトは、世界中の知
 の記録の集積をめざした映像による百科事典。以後30年近くの
 歳月を費やして数多くの研究者・カメラマンが世界各地に赴き、
 現在は失われた暮らしの技法や儀礼などの貴重な記録を含む、
 2000タイトル強の映像アーカイブが制作された。ECはさらに
 各国機関に渡り、日本でも1970年より下中記念財団によっ
 て、アジアで唯一のフルセットの映像が管理・運用されてい
 る。だが21世紀現在、本家ドイツのECプロジェクトは解
 散、日本でも16mmフィルムという記録媒体が障
 壁となり上映機会はほぼ途絶えていた。

連続上映会 ⑤ 仮面

仮面は、人間が作り出す造形物の中でも特別な不思議
 さ、謎、魅力を帯びている。人間に用いられる「仮の面」
 もあれば、人間という「仮の胴」を用いて踊る仮面もある。
 異界のイメージを体現する仮面もあれば、異界に働き
 かけるための回路となる仮面もある。ECフィルムは、
 我々が通常「仮面」と聞いて思い浮かべるイメージを大
 きく裏切る実に様々な仮面の姿を収めている。今回は
 ECフィルムに加えて、国立民族学博物館で作成された
 映像資料、そして実際の仮面舞踊のデモンストレーション
 をお届けします。アフリカ、ヨーロッパ、東南アジア、日
 本。各地の仮面を比較しながら「仮面とは何か」と問うの
 もよし、多彩な表情の仮面にふれ人間の想像力の豊かさ
 に思いを馳せるのもよし、仮面のもたらす非日常的な空
 気に身をゆだねるのもよし。一緒に仮面と戯れましょう!

本上映にあたり

短編映像のモザイクの海からさがす宝物

「食べる」「寝る」「子を産む」…さまざまな行動をテーマに、チ
 ンパンジーに爬虫類、微生物から人間までを記録した生物学
 シリーズ。民族学分野では「パン作り」だけで世界40地域の
 タイトルが並ぶ。
 提唱者G.ウォルフは、演出や解説、BGMを徹底的に選
 び比較を可能にする体系的な映像モザイクを目指し、EC
 は20世紀の民族誌映画のひとつの型を作ったとも言われ
 る。動物行動学の父コンラート・ローレンツ、EC愛好者か
 ら制作者に転身した元テレビ修理工マンフレッド・クル
 ガーなど、多彩な才能が集結して培われた映像制作の手
 法は後に各国に伝授され、そこから山形国際ドキュメンタリ
 ー映画祭等でも活躍する映画監督が育ちつつあるという。
 ケータイの動画撮影、Youtube映像……あらゆる断片映像
 の波に溺れる私たちの日常。こんな時代だからこそ、映像記
 録の原点ともいえるこの映像の百科事典が、新たな輝きを放
 つに違いない。今まさに、「客観」や「科学」の括りからECアー
 カイブを解き放ち、魅惑の標本箱の宝探しにくり出そう。

ゲスト

福岡正太 ふくおか しょうた

国立民族学博物館文化資源研究センタ
 ー准教授。民族音楽学専攻。インドネシ
 ア、西ジャワの音楽と芸能を研究。東京
 で仮面舞踊トベン・チルボンの演奏活動
 なども行った。近年は、芸能の映像民族
 誌の可能性について関心をもち、鹿児島
 県硫黄島などで芸能の撮影を進めて
 いる。関連する著作に「ワヤンの広場～
 東南アジアの人形と仮面」(共著、千里
 文化財団/2004)など。

吉田ゆか子 よしだ ゆかこ

国立民族学博物館 機関研究員。専攻
 は文化人類学。バリ島を主なフィールドと
 し、2006年より仮面の芸能や、仮面と関
 連する儀礼実践を研究している。調査中
 に自らも仮面舞踊劇トベンを学び、現
 地の儀礼で奉納に参加している。主な著
 作に、「仮の面と仮の胴」(『文化人類学』
 76(1)/2011)、「仮面が芸能を育む」
 (『床呂郁哉・河合香夏編』『もの人類学』
 /2011)など。

上映プログラム

ECフィルムより

- ティカール族(赤道アフリカ カメルーン草原)「夜の仮面の登場」/1977年
- 中央ヨーロッパ チロル「クラウバウフ行進の巨大な仮面(行動研究)」/1966年
- バウレ族(西アフリカ 象牙海岸)「アスウアクロの仮面舞踊「グバグバ」2 赤、黒、白の仮面、蟻の仮面」/1968年
- クラホ族(ブラジル トカンティンス地方)「コクリト」仮面編み」/1959年
- クラホ族(ブラジル トカンティンス地方)「コクリト」仮面舞踊」/1959年

民族名、撮影地名には、現在では用いられない名称がございますが、製作当時の表記を尊重しました。

特別上映

- 「トベン・チルボン 西ジャワの仮面舞踊」/国立民族学博物館製作
- 「鹿児島硫黄島の八朔太鼓踊りとメンドン」/国立民族学博物館製作
- 「バロンに続け! バリ島の子どもたちによる門付け」

2013.10.31 18:30開場/19:00開演

会場:Space&Cafeポレポレ座 東京都中野区東中野4-4-1ポレポレ座ビル1階

予約:03-3227-1405 event@polepoletimes.jp (ポレポレタイムス社) 料金:予約1,500円/当日2,000円(ワンドリンク付)

■共催:公益財団法人 下中記念財団(平凡社の創立者下中殊三郎を記念し、教育・出版に関する助成を実施)、ポレポレタイムス社

■企画:EC上映班(暮らしの自由研究室)、丹羽朋子(FENICIS)、ポレポレタイムス社

■協力:人間文化研究機構連携研究「映像による芸能の民族誌の人間文化資源的活用」、川瀬悠(国立民族学博物館)、岡田一男(東京シネマ新社) ■グラフィックデザイン:大橋祐介

